

大型リング鍛造品の製造で 圧倒的な強さを誇る

納期相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可
小ロット
量産対応



ローリングミルで大型鍛造品を製造

業務内容 大型から小型まで 幅広いサイズに対応

大型リング鍛造品の製造で圧倒的な強みを持つ。鍛造とは金属を過熱して圧力を加えながら成形製造すること、その形状がリング状のものをリング鍛造品と呼ぶ。同社は他社ではほとんど取り扱いのない最大外径4,000mm、最大高750mm、最大重量9,000kgの大型リング鍛造品を製造する。リング鍛造品だけでなく、フリー鍛造品も製造しており、どちらも大型から小型までさまざまなサイズに対応し、顧客のニーズに応えている。このため、発電所などで使われるフランジから工業重機や船舶などのベアリング、ギアまで幅広い用途で活躍している。

強み 一貫生産体制築き 品質への信頼も厚い

外径4,000mmの大型鍛造リングに対応できるのは、同社を含め日本で2社だけだという。これを可能にしているのが、自社開発した西日本最大規模のローリングミルだ。独自の設計の機械であり、複雑なオペレーションをかけ合わせて1台で大型品から小型品まで幅広いサイズの製造に対応することができる。また、鍛造品は鋼材の選定から切断、鍛造出荷前の検査まですべて自社工場内で完結する一貫生産体制を整えている。品質への信頼も高く、フランスのビュローベリタスや日本海事協会（NK）、ロイド船級協会（LR）、デットノルススケベリタス（NV）などさまざまな認証・認定を受けている。

設備増強 ロケット部品で 航空宇宙分野へ参入

同社はロケットエンジンのスカートノズルに使用される部品を製造・納入することになり、航空宇宙分野への参入も果たした。



大型鍛造リング



さまざまな形状の鍛造に対応

今後の展望 OJTで技術を継承 難加工材対応へも意欲

今後の有望分野と考えているのは、やはり航空宇宙だ。JAXA（宇宙航空研究開発機構）が中心となって開発する、「H3ロケット」の部品製造も視野に入れる。さらなる難加工材の取り扱いに向けて品質保証室の人員を増やし、対応できる体制を整えている。高付加価値の製品を提供し続けるためにはオペレーターの熟練した製造技術が欠かせない。現在の製造現場を支えるのは20〜40代の若手だが、現場経験は10年以上というベテランが多い。教育はOJTですべての設備にメインとサブのオペレーターを付け、ベテランオペレーターが初心者へのサブオペレーターを教育しながら技術を伝承していく方法を継続している。

当社の歴史



私の父である田中秀資が昭和31年に創業しました。種々の鋼材の販売から始まりましたが、同43年に大阪府柏原市へ鍛造工場を建設。大型プレス機などの設備を順次導入して現在に至っています。高品質の鍛造品を供給しさまざまな産業で役立ちたいというのが、創業以来変わらぬ思いです。

代表取締役 田中 哲雄さん

<http://www.daimaru-kozai.co.jp/>

主な事業内容

大型リング鍛造品はじめ各種鍛造品を製造・販売

主な取引先(納入先)

重工業メーカー、造船メーカー

●住所

〒550-0027
大阪市西区
九条1-28-7

●TEL

06-6581-2851

●FAX

06-6581-2855

●創業

昭和31年12月

●設立

昭和31年12月

●資本金

2,250万円

●従業員

26名